

医のチカラ

ご自由にお取りください
Take Free

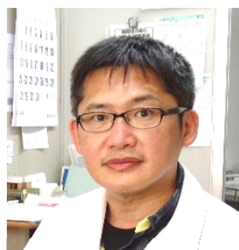


真鍋 由美 医師
医聖会 理事長・八幡中央病院 院長

2020年に続き、2021年も新型コロナウイルスに悩まされる年でした。ただ、だんだんとコロナウイルスの正体も解明されつつあり、医療体制整備や新型コロナワクチン接種が進みました。

2022年こそは、落ち着いて、また通常の生活を取り戻せることを願っておりますが、医聖会として引き続き地域に貢献できることは何か、いつも意識しながら職員一同団結して行動したいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

八幡中央病院に透析センターを開設しました。



姫田 健 医師
透析センター センター長

2021年11月から八幡中央病院に赴任しました姫田です。10年余り京都八幡病院の透析室に勤務させて頂きましたが、この度八幡中央病院へ場所を変え、引き続き血液透析患者さまの診療を担当させて頂きます。

八幡中央病院の特性を活かし、他科の先生と協力しながら、地域に根ざしたより良い治療を提供できるよう頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

透析センターってどんなところ？

糖尿病や高血圧などが原因で、腎臓の働きが低下することがあります。腎臓の働きが悪くなると、本来は尿として身体の外へ捨てられる老廃物や水分が、身体の中に溜まりやすくなります。その結果むくみや貧血などが起こりやすくなり、さらに悪化すると意識障害や呼吸困難をきたし、命にかかわる事もあります。

透析は、働きが悪くなってしまった腎臓の代わりに体内に溜まった老廃物や水分を取り除く治療です。透析領域では、医療の進歩とともに患者さまの高齢化が進み、合併症管理がより大切になっています。当院では、様々な合併症の治療にあたらせて頂きます。

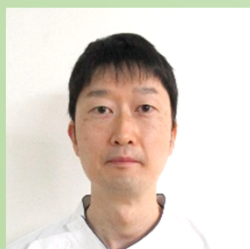
透析治療は生涯続く治療の為、様々な状況が発生します。他職種と連携を取り、患者さま一人ひとりに適した治療を提供するためにチーム医療を実施しています。

また、無料の送迎バスも運行しています。短期入院から長期入院まで患者さまの状態に合わせて診察・診療いたします。



透析室では医師だけでなく、看護師、臨床工学技士、ケアワーカー、事務員などがチームで活動しています。

◆ 新任医師のご紹介 ◆



八幡中央病院 内科
瀧本 裕基 医師

この度、八幡中央病院で勤務することになりました瀧本です。診療科としては内科になりますが、これまでは腎臓を専門として診療を行っておりました。

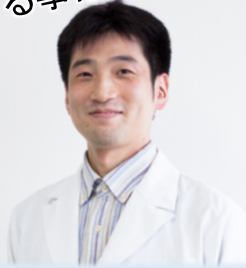
最近耳にすることが多い、慢性腎臓病(CKD)は糖尿病や高血圧などの生活習慣病のみならず、薬剤による副作用、糸球体腎炎、膠原病など様々な原因で起こることが知られております。このCKDは放置すれば透析療法が必要になるのみでなく、循環器疾患や脳卒中のリスクを高めることが明らかになり、注目されるようになりました。

このように様々な疾患と関連する腎疾患の診療を通して得られた経験をもとに、総合的な診療を心がけ、地域医療に少しでも貢献できますよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



「最近目がかすむ」「夜のヘッドライトがまぶしい」
 「目がゴロゴロする」「目やにが出る」「目がかゆい」
 「健康診断で目の異常を指摘された」「目の検診を受けたい」

『眼』に関する事はお任せ下さい！



八幡中央病院 眼科
 須田 謙史 医師

八幡中央病院眼科では、京都大学医学部附属病院と連携しながら診療しています。緑内障、糖尿病網膜症、黄斑疾患、神経眼科、眼形成などの専門外来に京大病院で従事している眼科医が日替わりで外来を担当しています。眼科手術は白内障手術が主ですが、緑内障手術(流出路再建術)や硝子体内注射もおこなっています。

緑内障は40歳を超えると20人に1人に認められる疾患です。糖尿病網膜症は糖尿病の三大合併症の1つです。いずれの疾患も早期からの目の検診が非常に重要です。視力低下など目に異常を感じられる方、糖尿病をお持ちの方、40歳以上の方は一度受診をおすすめします。

～ポリファーマシー対策～



「お薬」でこんなことはありませんか？

- ① いろんな病院にかかって同じ作用の薬をもらっている。
- ② 知らないうちに薬の副作用のために他の薬を飲んでいる。
- ③ 症状がなくなったのに薬を飲み続けている。
- ④ いつも飲み忘れてしまう薬がある。

高齢になると複数の病気で複数の病院にかかり沢山の種類のお薬を飲まれている人が増えています。高齢者では薬の種類が6種類以上になると副作用が現れる確率が高くなるという報告があります。

医聖会では、入院された患者さまが内服しているお薬の種類や飲み方を薬剤師が面談をして確認しています。

飲まれているお薬について不安があれば、是非薬剤師へ相談してください。薬剤師が、医師や看護師等のスタッフと相談しながら、不要なお薬を減らしたり、飲み方を調整したり、お薬を安全に正しく飲んでもらえるようお手伝いします。

退院の際には、お薬手帳に情報をのせて、かかりつけの医院や調剤薬局に情報が伝わるように努めています。

教えて！医療クラークって？



医療クラークは、医師や看護師業務の一部をサポートしています。その中でも医師事務作業補助者の資格を持つクラークは様々な業務に従事します。

病棟クラークは患者さまへの案内・説明、各種書類・データ管理、事務作業、時には傷の消毒や褥瘡回診に付き添って記録をしたり、先生方との関わりも多く、患者さまの入院から退院までの経過を医師・看護師同様に十分に把握しておく必要があります。さらに、中でもメディカルアシスタント(MA)と呼ばれる医師事務作業補助者はより一層、医師の近くで、医師の指示により様々な業務に従事しています。

外来クラークは診察に付き添い、患者さまの問診、処方薬の確認や次回予約などを行います。

病棟でも外来でもマニュアル通りにいかないことがたくさんありますが、全ての流れを幅広く理解して臨機応変に対応できるよう日々、努めています。

医聖会 看護部教育体制リニューアル!!



医聖会 本部
 教育担当部長
 元生 早苗



学研都市病院
 教育担当師長
 二宮 有紀

看護部として教育体制を整備しました！新人看護職員研修事業への取り組みや経年別教育、クリニカルラダーの導入などを行い、看護力アップを目指しています。医聖会グループでは専従の教育担当者がおり、看護部教育に携わっています。コロナ禍での新人は、なかなか現場に馴染めず早期退職も増えている社会現象が見られています。そのような中、当グループでは、新人看護職の離職はゼロ！素晴らしい事です！

看護部理念「人を大切にし 共に支え合う看護」。。。

医療現場ですので、新人に悩みや苦しみはあると思いますが、周囲に支えられ大切にされることで、前に進み成長しています。

Withコロナの医療現場で、地域の皆さまに信頼され安心して治療や療養を受けていただけるよう、これからも看護の質向上に努めてまいります。



チームでサポート！！糖尿病医療チーム『クローバー』

京都八幡病院では、2014年に糖尿病医療チーム『クローバー』を発足しました。

糖尿病患者さまの日常的な療養生活のサポートをしながら合併症(糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症)や予防に関連する情報を発信しています。これらの疾病で悩んでおられる方が、健康な日常生活を営んで頂くことを願い活動しています。

メンバーは京都府糖尿病療養指導士の資格を持つ、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士で構成し、糖尿病教室や様々な啓発活動を行っています。

活動内容は食事、運動、薬物療法の基礎情報はもちろん、糖尿病患者さまに特有のシックデイ、フットケアなど役に立つ情報をメンバー手作りのパンフレットなどで情報発信しています。

今後も引き続きクローバーの輪を地域に広げる活動を進めたいと考えております。



お知らせ

第28回 日本物理療法学会学術大会

学研都市病院 理学療法士

渡邊梨佳 が優秀賞を受賞しました！



学研都市病院および医聖会グループリハビリテーション科は、患者さまに対する各種リハビリテーションの提供を行う他、大学や研究施設とともに様々な研究にも熱心に取り組み、学会発表などの活動にも力を入れています。

今後も臨床・教育・研究の三本柱を大切に、患者さまに満足していただけるリハビリテーションを追求します。

◆ 新任医師のご紹介 ◆

学研都市病院 総合内科 後藤 聡 医師

出身大学	昭和大学 医学博士
資格	日本内科学会認定医
	日本糖尿病学会専門医
	日本老年医学会専門医
専門分野	糖尿病内科



この度、学研都市病院での勤務をします後藤聡です。これまで糖尿病内科を専門として診療・治療に従事してまいりました。

内科の医師と協力し、地域のニーズに答える医療を実践しつつ、糖尿病に関する専門的な治療を提供していきます。

お悩みはご来院の上、ご相談下さい。

「JA京都やましろ」さまから寄付を頂きました！

山城地域の医療機関へ対する感謝のお気持ちとして、学研都市病院へご寄付と地元のお茶を頂戴しました。励みになります。今後も地域に貢献できますよう職員一同尽力したいと思います。



八幡中央病院 形成外科から「レーザー治療」のお知らせ

ほくろ、イボ、シミはお化粧品ではなかなか隠しきれず、年齢よりも老けて見られたり、位置によってはコンプレックスの原因となることもあります。

気になる方は是非一度、お気軽にご相談だけでもどうぞ！

八幡中央病院
形成外科
毎週 木曜日・土曜日
9時 ~ 12時



医聖会がテレビに出演しました！

2021年12月26日 読売テレビ『BEAT』で医聖会が取り上げられました。放送の様子は読売テレビホームページよりは是非ご視聴ください！

土曜夜 11:35~

BEAT
時代の鼓動



こちらから見れます！

撮影風景

医聖会を大公開！

医聖会はフェイスブックで、医聖会の想いや、お知らせ、何気ない日常を描写しています。皆さま是非、「フォロー」と「いいね」をお願いします。



フェイスブックはこちらから

学研都市病院 整形外科からのお知らせ

尾立医師の診察が完全予約制となりました。ご予約は診察日の2ヶ月前から電話にてお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策徹底中！

医聖会グループでは、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を行っております。梨の里では、利用者さま・ご家族さまの体調不良時の抗原検査の実施や職員のPCR検査の実施、会食や外部研修などの制限、近畿圏外へ外出の際の届け出、行動制限などの強化を行い、利用者さまへの安全対策と感染防止対策の徹底を図っています。

コロナ禍ですが、敬老会の記念に利用者さまに行事食をご提供し、お祝いをさせて頂きました。



介護老人保健施設 石清水

介護サービス第三者評価を受診しました！



第三者評価とは・・・質の高い介護サービスを事業者が提供するために、介護老人保健施設などにおいて実施される事業について、公平・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みです。

3年に1回以上受診する必要があり、結果は、京都介護・福祉サービス第三者評価支援機構によって公表されます。

第三者評価を受診することにより、改善が必要なところが明確になるなど、サービスの質の向上に具体的に取り組んでいける良い機会となりました。

今後も石清水では理念・基本方針、事業計画の策定、介護サービスの質の向上へ取り組んでまいります。

介護老人保健施設 とちのき

デイケアでは、曜日ごとにご利用者さまが変わるので3日間開催しました。職員一同、皆さまに喜んでいただくダンスや歌、二人羽織を行いました。

スペシャルゲストには職員扮する小梅太夫や茂造、お相撲さんも登場し、大変盛り上がりしました。

敬老の日のプレゼントとして手作りのマスクケースをお渡しし、デイケア利用の際に持ってきてくださる方もいっしょに、大変嬉しく思っております。

これからもご利用者さまに、「デイケアとちのきに行きたい！」と思って頂けるよう、職員一同楽しく盛り上げていきたいと思っております。

定員は30人で少し余裕がありますので是非ご利用いただきますようお願いしております。

敬老会を開催しました！



サービス付き高齢者向け住宅 テレザートさくら



皆さまのご要望にお応えしオンライン環境を整えました。コロナ禍で施設見学に直接行くのは不安であったり、ご家族さまが遠方で施設選びに困っているという方は是非お気軽にご相談ください。



<テレザートさくらに在籍する職種>

- ・ 看護師 ・ 介護福祉士 ・ 介護士 ・ 理学療法士 ・ 柔道整復師

今後ともテレザートさくらをよろしく願います。

♪ ご入居をご希望の方、ご家族さま、まずは下記へご相談を ♪

お問合せ：テレザートさくら ☎ 075-201-0160

医聖会グループ

医療法人社団 医聖会 本部 〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田39-1

医聖会

八幡中央病院
京都八幡病院
学研都市病院

介護老人保健施設 梨の里
介護老人保健施設 石清水
介護老人保健施設 とちのき

職員用託児所 たんぽぽ
精華町病児・病後児保育室 ひまわり

サービス付き高齢者向け住宅 テレザートさくら
特別養護老人ホーム ゆりのき



季刊誌『医のチカフ』に関するお問合せは、本部 総務部 広報担当 ☎075-971-5565

医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。

医聖会グループでは職員を募集しています。お問い合わせ・資料請求は、医聖会本部 人事部 採用担当まで ☎075-971-5565